

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公開番号】特開2012-256173(P2012-256173A)

【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2011-128361(P2011-128361)

【国際特許分類】

**G 06 F 17/30 (2006.01)**

【F I】

G 06 F 17/30 2 1 0 D

G 06 F 17/30 4 1 9 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月20日(2014.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特徴空間の位置データが含まれるクラスタに与えられるクラスタ名称を示すクラスタ名称表示を表示部に表示させる表示制御部と、

前記クラスタ名称表示へのユーザの操作を取得する操作取得部と、

前記操作に応じて前記クラスタ名称を編集するクラスタ名称編集部と、  
を備える情報処理装置。

【請求項2】

前記クラスタ名称は、階層構造を有する名称群においていずれかの階層に属する名称を用いて生成され、

前記クラスタ名称編集部は、前記操作に応じて異なる前記階層に属する名称を用いて前記クラスタ名称を生成する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記操作取得部は、前記操作として、前記ユーザが前記クラスタ名称表示を第1の向きまたは前記第1の向きとは異なる第2の向きに移動させる操作を取得し、

前記クラスタ名称編集部は、前記第1の向きに移動させる操作が取得された場合にはより上位の前記階層に属する名称を用いて前記クラスタ名称を生成し、前記第2の向きに移動させる操作が取得された場合にはより下位の前記階層に属する名称を用いて前記クラスタ名称を生成する、請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記クラスタ名称は、階層構造を有する名称群において相異なる階層に属する名称を併記することによって生成され、

前記操作取得部は、前記ユーザが前記クラスタ名称表示を拡縮させる操作を取得し、

前記クラスタ名称編集部は、前記クラスタ名称表示がより大きくなるにつれて、より多くの階層に属する名称を併記した前記クラスタ名称を生成する、請求項1～3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記クラスタ名称は、階層構造を有する名称群においていずれかの階層に属する名称を用いて生成され、

前記表示制御部は、相異なる前記階層に属する複数の名称を一覧表示し、  
前記操作取得部は、前記ユーザが前記一覧表示から少なくとも1つの名称を選択する操作を取得し、

前記クラスタ名称編集部は、前記少なくとも1つの名称を用いて前記クラスタ名称を生成する、請求項1～4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項6】

前記表示制御部は、前記クラスタを含み木構造を有するクラスタ群の情報を取得し、前記木構造のノードの名称を前記表示部に表示させ、

前記操作取得部は、前記ユーザが前記ノードの名称から少なくとも1つの名称を選択する操作を取得し、

前記クラスタ名称編集部は、前記少なくとも1つの名称を用いて前記クラスタ名称を生成する、請求項1～5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項7】

前記クラスタ名称は、1または複数の前記位置データに対応する複数の名称を併記することによって生成され、

前記表示制御部は、前記クラスタ名称表示において、前記各名称の属性に応じて、前記各名称の表示方法を変化させる、請求項1～6のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項8】

前記各名称の属性は、前記各名称に対応する前記位置データの数である、請求項7に記載の情報処理装置。

#### 【請求項9】

前記各名称の表示方法の変化は、前記各名称の文字の大きさの変化である、請求項8に記載の情報処理装置。

#### 【請求項10】

特徴空間の位置データが含まれるクラスタに与えられるクラスタ名称を示すクラスタ名称表示を表示部に表示させることと、

前記クラスタ名称表示へのユーザの操作を取得することと、

前記操作に応じて前記クラスタ名称を編集することと、

を含む情報処理方法。

#### 【請求項11】

特徴空間の位置データが含まれるクラスタに与えられるクラスタ名称を示すクラスタ名称表示を表示部に表示させる機能と、

前記クラスタ名称表示へのユーザの操作を取得する機能と、

前記操作に応じて前記クラスタ名称を編集する機能と、

をコンピュータに実現させるためのプログラム。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0180

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0180】

このように、クラスタ名称編集部13は、クラスタ名称表示140を移動させるユーザの操作に応じて、クラスタ名称表示140として用いられる名称の階層を変更する。図示された例では、クラスタ名称表示140を右に移動させる操作に応じて、より上位の名称がクラスタ名称表示140として表示される。一方、クラスタ名称表示140を左に移動させる操作があった場合、より下位の名称がクラスタ名称表示140として表示される。つまり、操作取得部11によってクラスタ名称表示140を左に移動させる操作が取得された場合、表示部15の表示は、(c)から(b)へ、また(b)から(a)へと変化する。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0191

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0191】

(ピンチ操作によるクラスタ名称の変更)

図22は、本開示の第4の実施形態において、クラスタ名称表示へのピンチ操作によってクラスタ名称が変更される例を示す図である。図22は、クラスタ名称が変更される過程を示す。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0211

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0211】

(b)では、クラスタ編集部12が、上記の2つのクラスタ表示230によって示されるクラスタを包含する新たなクラスタを生成する。クラスタ編集部12は、生成されたクラスタの情報を表示制御部14に提供し、表示制御部14は、新たなクラスタの2次元平面への射影をクラスタ表示230として表示部15に表示させる。また、クラスタ編集部12は、生成されたクラスタの情報をクラスタ名称編集部13に提供し、クラスタ名称編集部13は、生成されたクラスタについてクラスタ名称を生成する。クラスタ名称編集部13は、生成されたクラスタ名称を表示制御部14に提供し、表示制御部14は、クラスタ名称“富士山”をクラスタ名称表示140として表示部15に表示させる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0220

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0220】

一方、クラスタ編集部12は、生成されたフォルダの情報をクラスタ名称編集部13に提供し、クラスタ名称編集部13は、生成されたフォルダについてフォルダ名称を生成する。クラスタ名称編集部13は、例えば、フォルダに含まれるファイルの名称を併記して“テキストAとテキストB”というフォルダ名称を生成する。クラスタ名称編集部13は、生成したフォルダ名称の情報を表示制御部14に提供し、表示制御部14は、フォルダ名称をフォルダ名称表示340として対応するフォルダアイコン330の近傍に表示する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0226

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0226】

一方、クラスタ編集部12は、生成されたフォルダの情報をクラスタ名称編集部13に提供し、クラスタ名称編集部13は、生成されたフォルダについてフォルダ名称を生成する。クラスタ名称編集部13は、例えば、フォルダに含まれるフォルダの名称を併記して“テキストと音楽”というフォルダ名称を生成する。クラスタ名称編集部13は、生成したフォルダ名称の情報を表示制御部14に提供し、表示制御部14は、フォルダ名称をフォルダ名称表示340として対応するフォルダアイコン330の近傍に表示する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0238

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0238】

( フォルダの削除 )

図31は、本開示の第7の実施形態においてフォルダが削除される例を示す図である。

図31は、フォルダが削除される前後の状態を示す。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0259

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0259】

10 情報処理装置

11 操作取得部

12 クラスタ編集部

13 クラスタ名称編集部

14 表示制御部

15 表示部

16 クラスタ情報

100 地図

110 画像アイコン

120, 320 軌跡

130, 230 クラスタ表示

135 サブクラスタ表示

145 サブクラスタ名称表示

140 クラスタ名称表示

160 木構造表示

161 ノード

200 3次元空間

300 ファイル配列

310 ファイルアイコン

330 フォルダアイコン

331 サムネイル表示

340 フォルダ名称表示